

HAKODATE アカデミックリンク 2023

2023 年 11 月 3 日(金・祝)に函館アリーナで行われた HAKODATE アカデミックリンク 2023 に特別参加してきました。HAKODATE アカデミックリンクとは、函館にある 8 つの高等教育機関からなるキャンパス・コンソーシアム函館の主催する合同研究発表会です。

当日は、2 年生理型・文型それぞれ 1 グループがポスター発表を行いました。出展者同士はもちろんのこと、一般来場の方々にもたくさんのご助言をいただき、非常に実りある発表となりました。生徒たちも高校生・大学生や企業の研究発表ブースを見学し、刺激を受けたようでした。今回の学びを生かして、引き続きそれぞれが研究を進めていく予定です。

【研究発表 1】 サンドイッチ法によるマリーゴールドのアレロパシー活性の評価

本研究では、マリーゴールドの葉、茎、花卉のレタスに対する成長阻害活性をサンドイッチ法により検定した。結果、葉、茎、花卉にはレタスの幼根及び下胚軸に対して有意な成長阻害性が認められ、特に葉において顕著な成長阻害活性が認められた。

【研究発表 2】 「蜘蛛となめくじと狸」「セロ弾きのゴーシュ」における共起分析

本研究は、宮沢賢治作品の特徴が、テキスト中に表出し、捉えることが計量的データにおいても可能であることを明らかにすることを目指し、共起ネットワーク分析を行った。対象作品は初期の「蜘蛛となめくじと狸」と晩期の「セロ弾きのゴーシュ」とした。先行研究では、「蜘蛛となめくじと狸」は念仏宗の実体を暴露した作品、「セロ弾きのゴーシュ」は動物達との交流によるゴーシュの成長を描いたものと論じられている。共起分析の結果、「蜘蛛となめくじと狸」においては、先行研究で述べられた狸についての事柄が蜘蛛となめくじにも該当することから、強い日蓮宗への信仰心、「セロ弾きのゴーシュ」においては、先行研究で述べられたかっこうと狸の子から学び、成長するゴーシュの姿がテキスト中に表出した。今後は、宮沢賢治の他作品へも研究の範囲を拡大していきたい。

